



笑顔満祭!! ~ みんなが主役! 本気のアオハル ~

9月12日(木)、13日(金)、保護者や卒業生、地域の方々も参加して令和6年度の文化祭が開催されました。文化祭実行委員さんを中心に決めた本年度のテーマ「笑顔満祭!! ~みんなが主役! 本気のアオハル」の下、1学期からクラスやクラブ等を出し物を決め、夏休みも含め文化祭前日まで展示物の制作、動画の撮影や編集、舞台発表で使用する大道具・小道具の制作や劇の練習、模擬店で販売する食べ物の試作等にクラスやクラブ一丸となって取り組んだことだと思います。また、今年は生徒会の皆さんのアイデアで学年別の投票も行われ、閉会式の結果発表の時には大いに盛り上がりました。私(教頭)が高校生の頃は「文化祭大賞」という賞がありました。クラス企画の中から1クラスだけが選ばれるのですが、例年、劇がその賞に選ばれており、劇をするクラスはみんな「文化祭大賞」を目指して取り組んだことを思い出しました。(教頭は1年と3年のクラス企画で劇に取り組みました。)

12日の開会式を思い出してください。校長先生の挨拶の中でこんなお話がありました。

私たちが本気を出して主体的に取り組むと、何か新しい気付きがあったり、新しい視点があったり、視野が広がったりするものです。だから、この2日間はしっかり楽しみながらも、人間として成長する機会やきっかけを見つけてもらえたらいいなと思っています。皆さん一人一人がこの文化祭の主役ですが、自分の役割を果たすだけでは十分ではありません。例えば、友達が困っていたら、何か自分ができることはないだろうか、或いは、作品を鑑賞し、「素晴らしいねえ」と褒めてあげることなども「主役」を演じる上で大事なことでしょう。皆さん一人一人がこの文化祭の「創り手」です。この文化祭が終わった後には、「新しい友達ができななあ」、「あっ!なんか成長したなあ」と、何か収穫するものがある2日間にしてほしいと思います。

日常の学校生活の中で、授業では学習面、異なる学年間で行う部活動では技術・戦術・体力だけでなく先輩後輩といった人間関係も学ぶことができます。それに加えて、今回の文化祭や今月末に実施される体育祭、またクラスマッチや遠足、修学旅行などの学校行事がなぜあるのか考えたことがありますか。それら学校行事には、授業や部活では学ぶことができない事を学び、身に付けてもらおうということを意図して計画、実施しています。以前、ある先生から「Chance」に「Challenge」して、自分を「Change」しようという「3つの『C』」の話聞いたことがあります。「今までの自分」と「新しい

自分」の間には、必ず何かのきっかけがあります。そのChance(きっかけ)に気付き、自分からChallenge(挑戦)して、自分を一回りも二回りも大きくChange(変化)していってほし

いと
思い
ます。



